

十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（案）の概要

人口ビジョン

総合戦略（平成27～平成31年度の5年間）

中長期展望

共通戦略

基本目標（◆基本目標KPI）

重要業績評価指標（KPI）

主な施策・事業

人口減少問題の克服

◎平成72年（2060年）に
将来人口推計より
約10,000人の人口増
➢平成72年(2060年)人口見通し
43,489人
(国立社会保障・人口問題研究所に
よる将来推計人口：33,449人)

●「人の流れ」を変え、人口流出に歯止めをかける
➢若者の流出を止め、呼び戻す

●「出生率向上」のため、阻害要因を取り除く
➢平成32年(2020年)…1.57
➢平成42年(2030年)…1.82
➢平成52年(2040年)…2.08
(以降は2.08を維持)

●長期かつ総合的な視点から有効な施策・事業を迅速実施

●「選択」と「集中」の徹底

●女性、移住者、高齢者が活躍できる地域社会づくり

元気づくり人材・PR人材の育成

市民連携の仕組みを横展開

魅力共有のための情報発信

十和田で想いのある仕事を
地域における安定した雇用を創出する

- ◆年間観光客入込数 271万人(H26)→300万人(H31)
- ◆「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定事業者数 3件(H26)→8件(H31)

十和田でバラ色の人生を
地域への新しいひとの流れをつくる

- ◆社会増減数 ▲307人(H26)→▲248人(H31)

十和田ではぐくもう人間愛を
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆合計特殊出生率 1.44(H25)→1.54(H31)

十和田で育てよう地域愛を
時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆介護保険制度の要支援1・2の方の維持・改善率 88.4%(H26)→92.0%以上(H31)

年間新規就農者数 4人(H26) → 12人(H31)

年間創業支援相談件数 40件(H26) → 70件(H31)

インターネットによる販売新規出店事業者数 - (H26) → 25件(H31)

年間観光消費額 344億円(H26) → 380億円(H31)

年間近居・同居支援利用件数 - (H26) → 20件(H31)

お試し移住を利用して転入した世帯 - (H26) → 5世帯(H31)

定住促進奨学金貸与件数累計 - (H26) → 30件(H31)

婚姻率 4.4(H25) → 4.6(H31)

不妊治療延べ申請件数 46件(H26) → 100件(H31)

放課後健全育成事業(仲よし会)開設数 9(H26) → 16(H31)

日常生活動作が自立している期間の平均
男性76.75歳 → 78.17歳
女性81.81歳(H25) → 83.16歳(H31)

地域包括支援センター数 1箇所(H26) → 3箇所(H31)

元気な十和田市づくり支援事業を活用した人口減少・少子高齢化対策事業数 1事業(H26) → 8事業(H31)

新たな広域的コミュニティ数 0地区(H26) → 11地区(H31)

- 農畜産物など高品質なとわだ産品の「ブランド力の更なる向上」
- ・地元農産物、加工品販売「市」の開催
- ・地域内連携による6次産業化への支援
- 雇用を生み出す創業の推進
- ・創業希望者への支援の充実
- ・インターネットによる販売参入支援
- 観光地域づくりの推進
- ・観光客を増やす取組体制の構築(日本版DMO・インバウンド対応強化)
- ・観光客等の利便性向上

- 移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯等の市内定着促進
- ・農業による移住・定住自立支援
- ・本市にゆかりのある若者世代と親との近居・同居の促進
- ・空き家利活用の促進
- ・お試し移住の推進
- ・定住促進を目的とした奨学金制度

- 出会い・結婚支援
- ・出会いから子育てに至るまでの情報発信
- 子育て世帯への経済的支援の充実と不妊に対する支援
- ・子ども医療費の助成拡大
- ・第3子以降の保育料の軽減拡大
- 地域における子育て支援体制等の充実
- ・放課後健全育成事業(仲よし会)の拡充
- ・日本一を目指した特色ある教育の推進

- ライフステージに応じた生活習慣の改善
- ・生活習慣予防対策の推進
- 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり
- ・地域介護予防活動の支援
- 主体的な地域づくりの推進
- ・元気な十和田市づくり支援事業
- ・新たな広域的コミュニティ活動支援
- ・地域づくりのリーダーとなる人材の育成